

住民基本台帳ネットワークシステムの中止および 自己情報コントロール権に基づく個人情報保護法制の 制定を求める国会請願署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

【請願趣旨】

去る8月5日、住民基本台帳ネットワークシステムが稼動しました。それによって、すべての住民票に11ケタの住民票コードが付けられ、さらに本人確認情報（6情報）が都道府県および全国センターに市区町村から提供されました。

私たちは、まず憲法にも示された人間の尊厳とプライバシーの権利を守る立場から、強制的に番号を付けることを許すことはできません。また、6情報を全国センターが管理し、公的機関に提供することについても将来歯止めなく拡大利用される恐れを強く抱えています。現に、利用目的を93事務から264事務へ拡大する電子政府関連三法案も提出されています。2003年8月にはICカードの発行も予定され、民間利用への拡大など、国民総背番号制へと一気に進むことは確実です。

さらに、住基ネットはシステムやセキュリティの面からも問題が多く、経費についても多額の税金を使い、市民や市区町村にとつてのメリットを感じられません。

一方、第154通常国会において継続審議となった「個人情報保護法案」は、個人情報保護するどころか国家による管理を強める天下の悪法です。この法案については部分的修正で改善されることは見込めません。直ちに廃案とし、改めて自己情報コントロール権に基づく個人情報保護基本法および行政機関を対象とした個人情報保護法の制定を求めます。

【請願項目】

- 1.住民基本台帳ネットワークを中止するため、住民基本台帳法を改正すること。
- 2 私たちを守らない個人情報保護法案および行政機関の個人情報保護法案を廃案とすること
- 3 憲法が保障する自由権のひとつ、自己情報コントロール権を明記した新たな法律を制定すること

【呼びかけ人】

有田芳生 (ジャーナリスト) / 石村耕治 (白鷗大学教授・PI代表) / 奥津茂樹 (情報公開クリアリングハウス理事) / 小倉利丸 (富山大学教員) / 鎌田慧 (Rポライター) / 齋藤貴男 (ジャーナリスト) / 佐高信 (評論家) / 佐藤文明 (戸籍研究者) / 佐野真一 (ノンフィクション作家) / 白石孝 (プライバシー・アクション) / 久田恵 (ノンフィクション作家) / 古本晴英 (弁護士・日弁連情報問題対策委員) / マッド・アマノ (パロディスト) / 三橋順子 (トランスジェンダー) / 山根信二 (CPSR日本支部代表) / 吉岡忍 (ノンフィクション作家) / 吉田司 (ノンフィクション作家) 2002.9.30現在

名 前	住 所

【取り扱い団体】